

JSSP 2020 47th Annual Conference Program

日本スポーツ 心理学会

プログラム

第47回大会



2020年

11月21日(土)～12月6日(日)

目次

1. はじめに	
ご挨拶	2
2. 大会への参加・発表に関するお知らせ	
大会への参加方法	4
大会企画シンポジウムへの参加方法	5
学会企画キーノートへの参加方法	6
ポスターの閲覧方法および発表者へのお願い	7
座長へのお願い	8
総会への参加方法	9
3. プログラム	
SMT 研修会	12
大会企画シンポジウム	13
学会企画キーノート	14
4. 一般発表演題一覧	
ポスター発表 A	16
ポスター発表 B	18
ポスター発表 C	20
ポスター発表 D	22
ポスター発表 E	24
ポスター発表 F	26
ポスター発表 G	28
ポスター発表 H	30
ポスター発表 I	32
ポスター発表 J	34

1. はじめに

ご挨拶

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症は様々な形で私たちの生活に暗い影を落としています。被害に遭われた皆様方には衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、皆様方のご支援を賜り、日本スポーツ心理学会第 47 回大会を開催する運びとなりました。ただ、本年度は学会大会初の Web 上での開催となります。学会企画シンポジウムや情報交換会などは中止とし、縮小した形式での運営となりました。研究発表もポスター発表のみとさせていただきました。それでも、発表申込数は 76 演題となり、ポスター発表の演題数のみを比較すれば昨年度の大会とほぼ同数に達しました。また、参加登録者数も 250 名を超えております。多くの会員をはじめとする皆様方の積極的な関与に深く感謝いたします。

スポーツ心理学会の長い歴史の中で、Web 上での開催は初めての経験であり、内容がどのようなものになるのか未知数な部分が多々あります。向き合って議論を戦わせるという学会本来の醍醐味は失われてしまうこととなります。反面、ポスターの Web 上での公開期間はおよそ 2 週間（11 月 21 日から 12 月 6 日まで）と長く設定いたしましたので、時間をかけて発表資料を読み込み、深みのある議論が期待できるのではないのでしょうか。大会企画シンポジウムとキーノートではメッセージプラットフォームを用いたリアルタイムの意見交換の場も設定する予定です。この奇禍が学会の新しい形式を模索するための大きな機会であると捉えることもできるのではないのでしょうか。多くの皆様方の参加をお待ちいたしております。

日本スポーツ心理学会第 47 回大会実行委員長

仙台大学 栗木 一博

2. 大会への参加・発表に関するお知らせ

大会への参加方法

大会企画シンポジウムへの参加方法

学会企画キーノートへの参加方法

ポスターの閲覧方法および発表者へのお願い

座長へのお願い

総会への参加方法

大会への参加方法

- 学会大会ホームページの「プログラム」のボタンをクリックして配信のページにアクセスしてください(<https://taikai47.jssp.jp/program/>)。
- ページに入るために最初に参加申込者にあらかじめ付与されている「処理番号※」と参加申込時に登録した「メールアドレス」を入力し、「確認」ボタンをクリックして下さい。
- 「日本スポーツ心理学会第47回大会参加者用プログラムページ」が表示されます。

※ 「処理番号」は大会参加申込後に送信されてきた、件名「[[JSSP] 第47回大会 事前参加登録受付けのお知らせ[0123456789]]」というメールにある10桁の番号[0123456789]です。メール本文中にも書かれています。事前にご確認ください。

大会企画シンポジウムへの参加方法

- 「参加者用プログラムページ」の中にある大会企画シンポジウムの各シンポジストの演題をクリックするとシンポジストの発表動画を閲覧することができます。発表動画は、大会期間中（11月21日～12月6日）いつでもご覧いただけます。
- 大会企画シンポジウムの項目内にあるディスカッションをクリックし、Slackを利用することによって、大会期間中（11月21日～12月6日）、いつでも質疑応答、意見交換をすることができます。ただし、登壇者からすぐに返答があるわけではありません。
- 11月28日（土）の15時から15時30分までの間は登壇者とリアルタイムでSlackによる質疑応答、意見交換を行うことができます。

学会企画キーノートへの参加方法

- 「参加者用プログラムページ」の中にある学会企画キーノートのそれぞれの演題をクリックすると発表者の動画を閲覧することができます。発表動画は、大会期間中の間（11月21日～12月6日）、いつでもご覧いただけます。
- 学会企画キーノートの項目内にあるディスカッションをクリックし、Slack を利用することによって、大会期間中（11月21日～12月6日）、いつでも質疑応答、意見交換をすることができます。ただし、登壇者からすぐに返答があるわけではありません。
- 11月28日（土）の16時から16時30分までの間は登壇者とリアルタイムでSlack による質疑応答、意見交換を行うことができます。

ポスターの閲覧方法および発表者へのお願い

- ポスター発表は内容の関連によって A から J までの 10 のグループに分かれており、各グループは 7 または 8 演題で構成されています。
- 「参加者用プログラムページ」の中にあるそれぞれの演題名をクリックするとポスター(PDF)を閲覧することができます。
- 各演題の項目内にあるディスカッションをクリックし、Slack を利用することによって、大会期間中の間（11 月 21 日～12 月 6 日）、いつでも質疑応答、意見交換をすることができます。Slack 内のチャンネルは、プログラムに記載されているグループと番号に対応しています。建設的なディスカッションを期待します。
- 発表者は定期的に Slack の内容の確認を行い、質問に対する回答や意見交換を行っていただきますようお願いいたします。

座長へのお願い

- ポスター発表は内容の関連によって A から J までの 10 のグループに分かれており、各グループは 7 または 8 演題で構成されています。
- 担当していただくグループの Slack を定期的に閲覧していただき、意見交換の促進や必要であれば質問に対する回答の催促なども行ってください。
- 質疑応答や意見交換が活発に行われていない演題がありましたら、質問、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

総会への参加方法

- 総会資料は、学会大会が始まる前（11 月 21 日まで）に会員全員にメールで送付いたします。
- 総会は、11 月 28 日 16 時 45 分から、ウェビナーで開催します。ウェビナーの参加申し込みは、総会資料の送付時にお知らせしますので、そこから申し込んでください。
- 総会資料に関する質問等は、「参加者用プログラムページ」の中にある「総会」のディスカッションをクリックし、Slack を利用するか、メール（conf@jsssp.jp）によって、大会開始後（11 月 21 日）、11 月 28 日のウェビナーでの総会開催まで、いつでも受け付けます。
- 詳細は、資料送付時のメールにてお知らせしますので、学会事務局からのメールをご参照ください。

3. プログラム

SMT 研修会

大会企画シンポジウム

学会企画キーノート

スポーツメンタルトレーニング指導士研修会 (Web 開催)

11月23日(祝・月)

9時30分～10時00分 受付 (ログイン確認)

午前

10時00分～10時20分 開会

総合ファシリテート： 資質向上部門長 秋葉茂季 (国土舘大学)

あいさつ： 立谷泰久 (国立スポーツ科学センター)

10時30分～11時15分

■研修1： レクチャー「個別サポート開始時における関係性の構築」

荒井弘和 (法政大学)

11時15分～12時15分 研修1についてレポート作成

(13時00分 レポート提出締め切り)

午後

13時00分～13時45分

■研修2-1 対談「チーム(集団)における個別サポートの導入①」

ファシリテーター： 秋葉茂季 (国土舘大学)

話題提供： 内田若希 (九州大学)

武田大輔 (東海大学)

14時00分～15時00分

■研修2-2 対談「チーム(集団)における個別サポートの導入②」

ファシリテーター： 秋葉茂季 (国土舘大学)

話題提供： 内田若希 (九州大学)

武田大輔 (東海大学)

15時00分～ 閉会のあいさつ

15時15分～16時15分 研修2についてのレポート作成

(18時00分 レポート提出の締め切り)

* スケジュール等の変更があった場合は、学会ウェブの指導士のページに掲載します。そちらも定期的にご確認ください

大会企画シンポジウム

■ 「新型コロナウイルスによる未曾有の危機に遭遇するアスリートと向き合う」

企画・司会： 菊地直子 (仙台大学)

話題提供者： 田中ウルヴェ京 (慶應義塾大学)

山口貴久 (仙台大学)

片山卓哉 (コンディショニングルーム KATAYAMA)

指定討論者： 土屋裕睦 (大阪体育大学)

- ・ 大会企画シンポジウムの発表動画は、大会期間中（11 月 21 日～12 月 6 日）いつでもご覧いただけます。また、項目内にあるディスカッションをクリックし、Slack を利用することによって、大会期間中（11 月 21 日～12 月 6 日）、いつでも質疑応答、意見交換をすることができます。ただし、登壇者からすぐに返答があるわけではありません。
- ・ 11 月 28 日（土）の 15 時から 15 時 30 分までの間は登壇者とリアルタイムで Slack による質疑応答、意見交換を行うことができます。

学会企画キーノート

■『『スポーツ心理学』と『日本スポーツ心理学会』』

話題提供者： 山本裕二 (名古屋大学)

■「実践経験から学問に貢献する、そして再び実践へ」

話題提供者： 武田大輔 (東海大学)

- ・ 学会企画キーノートの発表動画は、大会期間中（11月21日～12月6日）、いつでもご覧いただけます。また、項目内にあるディスカッションをクリックし、Slack を利用することによって、大会期間中（11月21日～12月6日）、いつでも質疑応答、意見交換をすることができます。ただし、登壇者からすぐに返答があるわけではありません。
- ・ 11月28日（土）の16時から16時30分までの間は登壇者とリアルタイムで Slack による質疑応答、意見交換を行うことができます。

4. 一般発表演題一覧

ポスター発表 A～J

ポスター発表 A

座長：坂入洋右（筑波大学）

PA1

大学女子ラグビー選手における生理的指標
を用いたストレス評価の一考察

川浪哲如（日本体育大学大学院）
高井秀明（日本体育大学）
大久保瞳（日本体育大学）
岩崎宏次（日本体育大学大学院）
坂詰和絵（日本体育大学大学院）
米地 徹（日本体育大学）

PA2

女性新体操選手のストレッサーがストレス
反応に与える影響

煙山千尋（岐阜聖徳学園大学）
尼崎光洋（愛知大学）

PA3

大学生アスリートの競技ストレスとソー
シャルサポート —H大学運動系部活動の団
体競技と個人競技に着目して—

浦島華乃（北翔大学大学院）
佐々木優（北翔大学大学院）
宇山 潤（北翔大学）
畝中智志（北翔大学）

PA4

傷つきやすいアスリートにおけるストレス
コーピングの有効性

山口慎史（順天堂大学）
川田裕次郎（順天堂大学）
中村美幸（順天堂大学大学院）
野栗立成（順天堂大学大学院）
室伏由佳（順天堂大学）
広沢正孝（順天堂大学）
柴田展人（順天堂大学）

ポスター発表 A

座長：坂入洋右（筑波大学）

PA5

大学生アスリートが抱える心理的問題・課題と精神的健康との関係

大久保瞳	（日本体育大学）
高井秀明	（日本体育大学）
坂詰和絵	（日本体育大学大学院）
岩崎宏次	（日本体育大学大学院）
川浪哲如	（日本体育大学大学院）

PA6

大学生アスリートにおけるコーピングがメンタルヘルスに及ぼす影響

衣笠竜世	（順天堂大学大学院）
川田裕次郎	（順天堂大学）
山口慎史	（順天堂大学）
室伏由佳	（順天堂大学）
柴田展人	（順天堂大学）
黄田常嘉	（順天堂大学）

PA7

大学生アスリートにおける組織内自尊感情がメンタルヘルスに及ぼす影響

野栗立成	（順天堂大学大学院）
川田裕次郎	（順天堂大学）
山口慎史	（順天堂大学）
長谷川賢典	（順天堂大学大学院）
加藤勇志	（順天堂大学大学院）
柴田展人	（順天堂大学）
黄田常嘉	（順天堂大学）

PA8

審判員におけるストレスがメンタルヘルスに及ぼす影響

村上貴聡	（東京理科大学）
立谷泰久	（国立スポーツ科学センター）

ポスター発表 B

座長：尼崎光洋（愛知大学）

PB1

失敗イメージが想起される要因の検討

實宝希祥（国立スポーツ科学センター）

福井邦宗（国立スポーツ科学センター）

佐々木丈予（国立スポーツ科学センター）

PB2

大学生アスリートの身体症状に関連する心理的要因の検討

高橋由衣（日本体育大学）

高井秀明（日本体育大学）

PB3

アスリートにおけるSense of Coherenceの関連要因とは—大学生を対象とした基本属性による予備的検討—

園部 豊（帝京平成大学）

PB4

マインドフルネス特性が抑うつ反すう及び痛みに対する反すうを媒介して月経前不快気分障害症状に与える影響について—女子大学生アスリートと一般女子大学生の比較検討—

山口有貴子（神戸市教育委員会）

平田大智（関西学院大学）

大前杏織（関西学院大学大学院）

佐藤 寛（関西学院大学）

ポスター発表 B

座長：尼崎光洋（愛知大学）

PB5

アスリーートの睡眠の質と心理状態との関連 高橋珠実 （東洋大学）

PB6

運動習慣の心理的プロセスの探究 ―運動が 高見和至 （神戸大学）
習慣化するとは，何が変わるのか？―

PB7

一過性運動が青年と高齢者の抑制機能に与 藤原秀朗 （京都大学大学院）
える影響 ―運動効果の年齢間比較と持続性 恵 明子 （熊本大学大学院）
― 安村 明 （熊本大学大学院）

PB8

ボディ・ワーク体験尺度作成の試み 礒野加奈子 （筑波大学大学院）
 雨宮 怜 （筑波大学）
 坂入洋右 （筑波大学）

ポスター発表 C

座長：小谷泰則（東京工業大学）

PC1

水平垂直方向の視線手がかりが後続刺激の	坂部崇政	（日本体育大学大学院）
反応に与える影響	高井秀明	（日本体育大学）

PC3

バスケットボール選手の眼位における検討	小松佳弘	（筑波大学大学院）
	國部雅大	（筑波大学）

PC4

ハードルが低く見えると速く跳び越せるの	兄井 彰	（福岡教育大学）
か？ —高さ知覚とパフォーマンスとの関係		

ポスター発表 C

座長：小谷泰則（東京工業大学）

PC5

アスリートにおけるメンタルローテーション能力と初期視覚情報処理との関連	浦 佑大	（日本体育大学大学院）
	高井秀明	（日本体育大学）

PC6

心的時間の変動によるイメージトレーニングの効果検証	相川 聖	（日本体育大学大学院）
	高井秀明	（日本体育大学）
	中瀬卓也	（日本体育大学）

PC7

スポーツ選手の主体的な行動を促進させる映像フィードバックと練習日誌の活用	加畑 碧	（仙台大学）
	雨宮 怜	（筑波大学）
	神野未来	（仙台大学）
	坂入洋右	（筑波大学）

ポスター発表 D

座長：中本浩揮（鹿屋体育大学）

PD1

体育と算数の授業における他者との協調的
振る舞い

加納岳拓（三重大学・名古屋大学大学院）

横山慶子（名古屋大学）

山本裕二（名古屋大学）

PD2

剣道における打突パターンの分類 —2者間
の速度の相対位相に着目して—

川部宰也（中京大学大学院）

村上宏樹（中京大学）

山田憲政（中京大学大学院）

PD3

複数の潜在的ターゲットへの腕到達運動に
おける開始動作速度の平均化行動

女川亮司（東京大学・日本学術振興会）

向井香瑛（早稲田大学）

小池裕子（東京大学）

工藤和俊（東京大学）

ポスター発表 D

座長：中本浩揮（鹿屋体育大学）

PD4

カヌースプリントにおけるスタート時の自	西分友貴子（武庫川女子大学大学院）
動発艇装置に対する反応時間の影響	田中美吏（武庫川女子大学）

PD5

準備動作の周波数が主動作に及ぼす影響	小西壮介（中京大学大学院）
	若月 翼（中京大学大学院）
	堀田義也（中京大学）
	山田憲政（中京大学）

PD6

ラクロスにおける捕球技能向上に伴うクロ	柴崎雛子（筑波大学大学院）
ス操作の変化	大木雄太（筑波大学）
	國部雅大（筑波大学）

PD7

50km競歩競技におけるペース設計のための	平川武仁（大阪体育大学）
汎用的数理モデル	

ポスター発表 E

座長：内田若希（九州大学）

PE1

ヨット競技者の心理特性の検討 —UK法と YG検査を対象として—	東山明子	（大阪商業大学）
	船越正康	（大阪教育大学）
	丹羽劭昭	（奈良女子大学）

PE2

男子中学生サッカー選手のポジションごと のパーソナリティに関する縦断的検討	松岡悠太	（法政大学大学院）
	中澤 史	（法政大学大学院）

PE3

包括的自己効力感尺度の開発と信頼性・妥当性の検討：学生アスリートと一般学生を対象として	池田英治	（山形大学）
	廣田信一	（山形大学）

PE4

他者効力感の向上に影響を与える要因の探索 —ソフトテニスにおけるダブルスのペアに着目して—	寺下博貴	（順天堂大学大学院）
	山口慎史	（順天堂大学）
	中村美幸	（順天堂大学大学院）
	堀本菜美	（法政大学）
	細川 峻	（順天堂大学大学院）
	川田裕次郎	（順天堂大学）

ポスター発表 E

座長：内田若希（九州大学）

PE5

スポーツ競技者の感動体験が達成動機に及ぼす影響

高山 彩 (広島大学大学院)
桑野佳奈 (株式会社JTB)
関矢寛史 (広島大学)

PE6

大学運動部員における基本的心理欲求の充足・不満と適応感との関係

伊藤豊彦 (久留米大学)

PE7

大学生アスリートにおける目標志向性と指導者との人間関係が内発的動機づけに及ぼす影響

石田泰之 (順天堂大学大学院)
山口慎史 (順天堂大学)
長谷川賢典 (順天堂大学大学院)
川田裕次郎 (順天堂大学)

PE8

運動能力に関する潜在的な信念と目標志向性の関連

日野正崇 (鹿屋体育大学大学院)
中本浩揮 (鹿屋体育大学)
亀井誠生 (鹿屋体育大学)
村川大輔 (鹿屋体育大学大学院)
幾留沙智 (鹿屋体育大学)

ポスター発表 F

座長：川田裕次郎（順天堂大学）

PF1

ラグビーのスクラム局面における前列と後
列の協力関係について

細川正義（中京大学大学院）

中島健登（中京大学大学院）

堀田義也（中京大学）

山田憲政（中京大学）

PF2

日本語版スポーツコミットメント尺度 2 の
妥当性の検証 —大学生のスポーツの楽しさ
に着目して—

元嶋菜美香（長崎国際大学）

PF3

スポーツ版組織コミットメント尺度の作成
に関する研究

折茂紗英（日本体育大学大学院）

高井秀明（日本体育大学）

ポスター発表 F

座長：川田裕次郎（順天堂大学）

PF4

動機づけ雰囲気の違いによる技能向上と楽しさの志向性 —運動学習場面への介入—

佐々木優（北翔大学大学院）

浦島華乃（北翔大学大学院）

宇山 潤（北翔大学）

畝中智志（北翔大学）

PF5

自然体験活動を通したエンカウンターグループにおける参加者の成長と実践の課題

松井幸太（関西国際大学）

PF6

大学運動部の試合観戦者増加に向けたアプローチ法の検討

児玉亜由実（東筑紫短期大学）

内田若希（九州大学）

PF7

観客の制限によるホームチーム×アウェイチームへの影響：J1リーグの審判員の警告数を手がかりに

安部健太（帝京大学）

ポスター発表 G

座長：三木ひろみ（流通経済大学）

PG1

親を対象としたスポーツ子育て絵本の効果
—スポーツ系と文化系習い事の比較—

藤後悦子（東京未来大学）

大橋 恵（東京未来大学）

井梅由美子（東京未来大学）

PG2

バレエ学生における母親への愛着と心理的
競技能力との関連

鹿内菜穂（亜細亜大学）

PG3

テキストマイニングを用いて「振り返り」
を可視化する試み

田中雅人（愛媛大学）

PG4

練習中における指導者の声かけがジュニア
選手に及ぼす心理的影響 —女子バスケット
ボール選手を対象として—

堀家弥姫（川崎医療福祉大学大学院）

門利知美（川崎医療福祉大学）

田島 誠（川崎医療福祉大学）

ポスター発表 G

座長：三木ひろみ（流通経済大学）

PG5

中学運動部員に対するソーシャルサポート 飯田麻紗子（港北もえぎ心療内科）
提供者 —思春期対人関係の性差に着目して—

PG6

スポーツ選手の心理社会的発達課題の達成 竹之内隆志（名古屋大学）
と心理的競技能力 —発達差の検討— 大畑美喜子（川辺やすらぎクリニック）

PG7

アスリートにおけるライフスキルのトランス 藪中佑樹（大阪体育大学大学院）
スファアを評価する —大学生アスリートを 亀谷 涼（大阪体育大学大学院/
対象とした尺度開発— 流通科学大学）
山田弥生子（大阪体育大学大学院）
土屋裕睦（大阪体育大学）

PG8

アスリート・アントラージュに求められる 福井邦宗（法政大学）
能力と現状の課題 —アスリート・アント
ラージュ自身の語りから—

ポスター発表 H

座長：中沢 史（法政大学）

PH1

大学競泳選手の自己記録と心理的競技力の
関係

工藤慈士（びわこ成蹊スポーツ大学）

佐藤大典（びわこ成蹊スポーツ大学）

草薙健太（中京大学）

PH2

競技レベル別にみたサッカー選手の心理的
競技能力

堀野博幸（早稲田大学）

PH3

ミャンマーサッカー育成年代選手の心理的
競技能力に関する研究 —2か国によるU-17
アカデミー選手の比較から—

松山博明（追手門学院大学）

PH4

アスリートにおける身体への気づきが反芻
および省察に与える影響

堀 彩夏（日本体育大学）

高井秀明（日本体育大学）

ポスター発表 H

座長：中沢 史（法政大学）

PH5

練習時と競技会時の心理・生理的状态とパフォーマンス結果の関連性 —エリートフィギュア選手1名の事例検討—	草薙健太	（中京大学）
	工藤慈士	（びわこ成蹊スポーツ大学）
	佐藤大典	（びわこ成蹊スポーツ大学）
	堀田義也	（中京大学）

PH6

練習期から試合に至るまでの不安の対処に関する事例的研究 —全国トップレベルの大学生剣道選手を対象として—	阿比留萌	（鹿屋体育大学大学院）
	中本浩揮	（鹿屋体育大学）
	亀井誠生	（鹿屋体育大学）
	村川大輔	（鹿屋体育大学大学院）
	幾留沙智	（鹿屋体育大学）

PH7

試合中に生起する情動における個人差について —バドミントンシングルス試合を例に—	栗原 啓	（山口県体育協会/ 九州産業大学大学院）
	磯貝浩久	（九州産業大学）

PH8

模擬試合におけるアーチェリー選手の気分と心拍数の時間経過に関する特徴	戸松陽平	（日本体育大学大学院）
	高井秀明	（日本体育大学）

ポスター発表 I

座長：杉山佳生（九州大学）

PI1

東京オリンピック代表候補選手の心理的競技力および大会前の心配事・専門家への相談要請の実態調査 —競技種別の違いによる検討—

阿部成雄（国立スポーツ科学センター）

榎本恭介（国立スポーツ科学センター
/法政大学大学院）

實宝希祥（国立スポーツ科学センター）

佐々木丈予（国立スポーツ科学センター）

福井邦宗（国立スポーツ科学センター）

江田香織（国立スポーツ科学センター）

遠藤拓哉（国立スポーツ科学センター）

谷内花恵（国立スポーツ科学センター）

立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

PI2

アスリートの抑うつ症状の重症度別における競技不安や認知的変数の特徴

平山浩輔（帝京平成大学）

笹川智子（目白大学）

高井秀明（日本体育大学）

PI3

フェンシング選手の悩みに関する実態調査

鈴木 敦（東京医科歯科大学）

ポスター発表 I

座長：杉山佳生（九州大学）

PI4

スポーツ少年団における体罰に関する探索的研究
上野耕平（香川大学）

PI5

運動部活動場面における指導者からのパワーハラスメント —選手の指導者に対する感情に着目して—
堀本菜美（法政大学）
山田快（法政大学）

PI6

大学生アスリートにおけるかぜ症候群への対処行動
荒井弘和（法政大学）
榎本恭介（法政大学大学院）
清水智弘（法政大学大学院）

PI7

新型コロナウイルス感染症対策に伴う大学生アスリートの心理的特徴
高井秀明（日本体育大学）
高橋由衣（日本体育大学）

PI8

COVID-19感染拡大下において影響を受けたアスリートの特徴 —日常生活ならびに競技生活への影響を対象として—
雨宮 怜（筑波大学）

ポスター発表 J

座長：立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

PJ1

大学生アスリートを対象とした心理サポートに関する実態調査	坂本悠馬	（松本大学大学院）
	齊藤 茂	（松本大学）

PJ2

卓球選手におけるメンタルトレーニングと心理サポート	北林唯心	（なし）
	石村宇佐一	（金沢大学）

PJ3

心理技法の活用が心理的競技能力に及ぼす影響 —大学生競技者を対象として—	藤本太陽	（福山平成大学）
	柴原健太郎	（九州市立大学）
	深見将志	（日本大学）
	楠本恭久	（福山平成大学）

PJ4

目標設定の違いによるリレー競走の心理的効果の比較	吉武誠司	（筑波大学大学院）
	稲垣和希	（筑波大学）
	坂入洋右	（筑波大学）

ポスター発表 J

座長：立谷泰久（国立スポーツ科学センター）

PJ5

スポーツパフォーマンスにおけるアクセプ
タンス&コミットメント・セラピー ―目標
設定の課題点を克服するACT―

高山智史（関西学院大学大学院/
長野県鉢盛中学校）

佐藤 寛（関西学院大学大学院）

PJ6

EMS運動機器の継続的使用が心身にもたら
す効果の解明

青木滉一郎（東洋大学）

加藤千恵子（東洋大学）

小松昭吾（東洋大学）

川出周平（株式会社MTG）

PJ7

スポーツ心理学の歴史から見える将来への
課題

阿江美恵子（東京女子体育大学）

運営組織

日本スポーツ心理学会第 47 回大会実行委員会

大会実行委員長	栗木一博	(仙台大学)
実行委員	菊地直子	(仙台大学)
	佐藤周平	(仙台大学)
	山田恵子	(仙台大学)
	加畑 碧	(仙台大学)
	井上雅勝	(仙台大学)
	荒井龍弥	(仙台大学)
	藤本晋也	(仙台大学)

大会事務局	仙台大学
	〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南 2-2-18
問い合わせ先	TEL : 0224-55-5079 FAX : 0224-57-2769
	E-mail : conf@jssp.jp

大会協賛企業等ご芳名

株式会社 YKC

株式会社大修館書店

株式会社スパイス

株式会社 テキスト

株式会社文成印刷

本大会を開催するにあたり、上記の方々より多大なご支援をいただきました。ここに
ご芳名を記して、感謝の意を表します。

日本スポーツ心理学会第 47 回大会実行委員長

栗木 一博